

ウェルウォーク通信

～WW-3000 機能紹介 Part.2～

日頃はウェルウォークをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。
先月に引き続きWW-3000について、より細かい変更点をご紹介します。

① 足底荷重センサユニット廃止

- ・ソールが2.9cm→2.2cmに薄型化
- ・サイズ変更がつま先部のみを交換することで足部交換の手間を削減



② 麻痺側と非麻痺側のシューズ共通化

- ・片側フレーム化で内側の干渉リスクが低減
ブーツ型からシューズ型に変更
- ・ソールにクッションを追加することで歩きやすさが向上



③ 体幹支持ハーネスの改良

- ・構成部品のばらけ防止機構追加
- ・肩ベルトの着脱構造の追加
緊急時の取り外し操作やアームスリングをつけたままの着脱を容易に



④ 装具類の種類・部品点数が削減

- ・ヒップジョイント構成部品が4点から2点になり
取付やすさが向上
- ・足関節の調整方法がピン式からネジ式に変更
シームレスな調整が可能



⑤ 手すりの着脱機能の追加

- ・側方からの介助スペースや動線の確保が可能



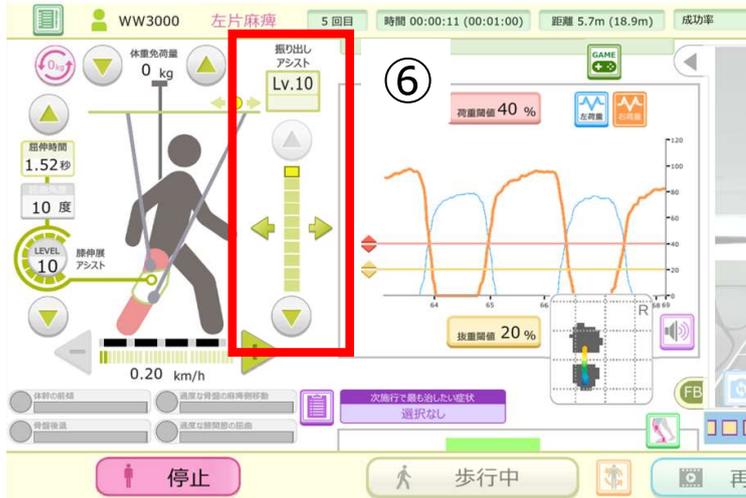
メカ部品設計担当コメント

脚調整が工具なしで行えるようになりました。調整箇所も増えたため、より適切な位置をスムーズに提供できるようになっています。また、手すりは脱着可能になったことで矢状面から歩容全体を把握することができます。この改良機能が臨床現場での役に立つことを願っています。

ウェルウォーク通信

～WW-3000 機能紹介 Part.2～

操作画面



⑥ アシスト調整機能を拡張

- ・振り出しアシストレベルの上限UP
⇒6段階から10段階へ拡張
最大アシスト量UPでより重症患者の対応が可能に
- ・麻痺側の振り出し位置（前後調整）が
3段階から7段階へ調整ができるようにすることで
患者様に合わせてより細かく調整が可能に

日報画面



⑦ 日報項目の追加

- ・トレッドミルに荷重分布センサを内蔵したことで
歩隔、歩幅、足角、単脚支持期 &
両脚支持期の時間と割合が取得可能に
- ・スクロール機能や頭出し機能を追加することで
操作性を改善

ソフト設計担当コメント

異常歩行検知の判定を、これまでの3段階（正常・KP・KR）から5段階（正常・KP小・KP中・KP大・KR）に細分化しました。この機能を使ってどの異常歩行に着目すべきかの参考に是非してください。
操作画面の見た目は大きく変わりませんが、機能は充実しています。
ご活用いただけると幸いです。